

■ 市民団体×媒体の意見交換会

市民団体と媒体（マスコミやミニコミ）との意見交換会を開催します。お互いを理解し、今後の活動に役立てるのが目的です。是非ご参加ください。

日 時▷2017年2月7日(火) 18:30~20:30

会 場▷千葉市民活動支援センター 会議室

対 象▷センターに登録されている団体の方

定 員▷12団体（お申込み先着順、1団体2名まで）

■ ファシリテーション講座

会議を『見える化』しよう！

ファシリテーション・グラフィックの基礎

「話がまとまらない！」「同じ話がくり返される」「結論が出ない」など、会議の悩みは尽きません。板書のしかたによって会議が「見える」ようになると、流れがどう変わるのか、体験してみませんか？

日 時▷2017年2月12日(日) 13:30~16:30

会 場▷千葉市民活動支援センター 会議室

講 師▷増平貴之氏(チームファシリテーションラボ所属)

定 員▷24名(申込み先着順) ※申込み締切：1月31日

参加費▷500円

■ 千葉市を元気にするミニシンポジウム

千葉を売り込む！チバ魅力発見伝

海、里山、歴史、おもてなしなど6人のスピーカーの夢実践から、市民がつくる「チバの魅力」を伝え、参加者と「チバの魅力づくり」について話し合いをします。アドバイザーとして、千葉市観光プロモーション課の職員にも参加いただけます。

日 時▷2017年2月25日(土) 13:30~16:30

会 場▷さぽーる11F(中央保健福祉センター)大会議室

定 員▷30名(申込み先着順) ※申込み締切：2月15日

■ 市民団体×行政の意見交換会

「千葉市の海辺の活性化」をテーマに千葉市都市局海辺活性化推進課の方を交えて、ざっくばらんに意見交換をします。

日 時▷2017年3月24日(金) 18:30~20:30

会 場▷千葉市民活動支援センター 会議室

対 象▷センター登録団体で千葉市の都市政策に関心がある方

定 員▷12団体（お申込み先着順、1団体2名まで）

■ 専門家による講座(2月・3月)

NPO運営・市民活動入門講座

「NPO法人の基礎～本当のメリットを知ろう！～」

日 時▷2017年2月19日(日) 10:00~12:00

会 場▷千葉市民活動支援センター会議室

講 師▷原田正隆氏(株式会社まちづくり商会 代表取締役)

定 員▷25名

税理士専門講座

「ここがポイント非営利団体の会計」

日 時▷2017年3月16日(木) 18:30~20:30

会 場▷千葉市民活動支援センター会議室

講 師▷加藤達郎氏(加藤達郎税理士事務所 代表)

定 員▷25名

※参加費の記載がないものは、参加費無料です。

【本ページに記載の講座等のお申込み方法】

千葉市民活動支援センターまで、メール、FAX、TEL、来所にて、以下の項目をお知らせください。

①参加を希望する講座等の名称・日時、②お名前、③ご住所(市区町村名まで可)、④連絡先(電話・メール)、⑤所属団体(あれば)

ミニコラム

ちばさぽの風 vol.17

今回は、facebookで繋がることを共通点とした『ちば〇〇部』と『FB千葉市グループ』という団体の代表である留守敦さん(37歳)に紙面インタビューを試みました。

Q1:現在、どんな活動をしておられますか？

A1:『ちば〇〇部』は、「〇〇したいをカタチにしよう」をキャッチフレーズに、1宣伝する 2共感する 3実行するという3つのステップで、自己実現のための部活を作る活動をしています。3年前の【稲毛朝テニス部】を皮切りに、【稲毛朝活部】や【稲毛美容部】など、facebookでグループを作り、イベントを立てて、宣伝するという仕組みです。なかでも2014年から3回目になるのが、100名程の参加者を集める「稲毛シャルソン」。カフェなどの協力店「給〇ポイント」(お水を飲ませ、スマホの充電させてくれる)を設け、朝10時から歩いたり走ったりしてまわります。普段気づかない景色や、面白い場所をFBイベントページに投稿し、1番面白い体験をした人が優勝という企画です。

Q2:FB千葉市グループではどんなことをしていますか？

A2:人数が3000人近くいるので、ガイドラインがありま

コミュニティを元気にする ～楽しいところに人は集まる～

す。「千葉市の人・場所・お店をあげて、千葉を楽しむ」ということを主要なポイントにしています。

Q3:みつわ台で地元のまつりにも関わっていると聞きましたが、何かきっかけはあるのですか？

A3:「みつわ台まつり」が高齢化で存続が厳しいと知りました。みつわ台に事業所があり、実家もみつわ台なので「みつわ台を元気にしたい」と思いました。まつりの母体をNPOや一般社団法人にするなどの自主運営できるものにしたいと思っています。

Q4:今後、どんな方向に向かっていくでしょうか？

A4:『FB千葉市グループ』と『ちば〇〇部』のよいところを繋げていけたらと思っています。3000人以上のネットワークが商店街の人、地域活動をしている人など、どんどんつながり、広がっていくことを期待しています。(す)

